

ILL ってなあに？

農学部分館図書係 長谷川順子

1. ILL ってなあに？

ILL (アイ・エル・エル) は InterLibrary Loan の略です。図書館間で行われる相互貸借 (ソウゴタイシャク) のことです。相互貸借サービスには雑誌の論文コピーを入手することや図書の借用があります。利用者は当館で申込みをして、他大学図書館から論文コピーを入手したり、図書を借用することができます。

当館 (本館、工学部分館、農学部分館) の ILL 利用は、コピー依頼が年間 2,700 件、他大学からのコピー受付が 2,800 件あります。多くの利用者が ILL のサービスを利用して、資料を入手しています。特に、本格的な学習・研究が必要になってくる 3 年生以降の利用が多くなっています。

2. どうやって利用申込をするの？

2-1 論文コピーの入手について説明します。

まず、雑誌の所蔵検索をします。

検索のためのツールは、附属図書館 HP (図 1) 蔵書検索 OPAC (オーパック) (図 2) や全国大学等の蔵書検索 NACSIS Webcat (ナクシス ウェブキャット) (図 3) があります。雑誌名をキーにして、検索します。

雑誌で当館で所蔵していたら、所蔵データから巻号を確認します。

必要な雑誌や巻号を当館で所蔵していなかったら、ILL サービスの申込みをします。

申込み用紙はカウンターにあります。

申込みのポイントは、雑誌の ID 番号の検索です。

雑誌は、ISSN (国際標準刊行物番号)

図1 茨城大学附属図書館ホームページ

<http://www.lib.ibaraki.ac.jp/>



図2 OPAC

<http://toshodb2.lib.ibaraki.ac.jp/opc/>



図3 NACSIS Webcat

<http://webcat.nii.ac.jp/>



や書誌 ID (NACSIS-CAT のレコード ID) など、いわゆる雑誌の背番号をもっています。

当館は NACSIS-ILL システムを使って、他大学へ依頼します。

システムの概要は次の項目で説明します。

1 週間以内に論文コピーが郵送されます。到着の連絡は掲示や電話でいたします。論文コピーの費用は、利用者がカウンターで請求額を確認し、会計部署で支払います。

費用は、1 枚 35 円 × 枚数 + 郵便料金 140 円程度となります。

支払が済んだら、論文を受け取ってください。

2-2 次に図書の借用について説明します。

図書の借用申込みについても雑誌とほぼ同じです。図書の借用の留意点は以下のとおりです。

図書の ID 番号は、ISBN (国際標準図書番号) といえます。

貸出中の図書は、借用できません。

費用は、図書 (200p. 重さ 500 g) を関東地区の大学図書館から借用する場合、郵送料 290 円 + 簡易書留 250 円 = 片道 540 円 となり、往復分の費用が必要です。

図書の借用期間は郵送期間を含めて 3 週間程度です。図書は、汚損、破損がないように丁寧に利用しましょう。利用が済んだら速やかにカウンターへ返却してください。

3 NACSIS-ILL のしくみを教えて！

NACSIS-ILL (ナクシス・アイ・エル・エル) とは、国立情報学研究所 NII が提供している ILL のメッセージのやりとりを電子化したシステムです。国内の大学図書館、研究機関など 900 組織が NACSIS-ILL に参加し、

資源の共有と相互利用を実現しています。

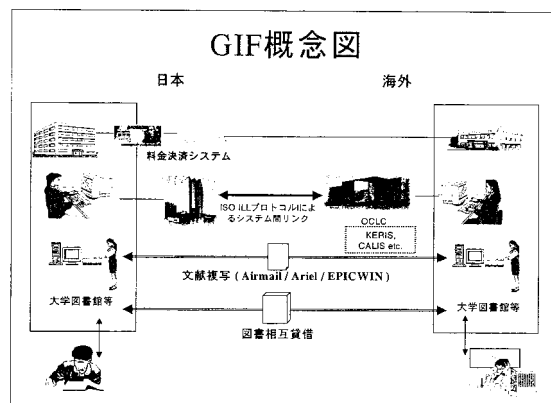
NACSIS-ILL は、NACSIS-CAT (ナクシス キャット 目録・所在情報サービス) から資料を選択し、参加館のサービス状況や利用条件のファイルを参照しながら、依頼メッセージを相手館へ送ることができます。(図 4) 申込みの際に記入していただいた雑誌や図書の ID 番号によって、依頼業務における資料検索のスピード化を図ることができ、利用者へより早く、確実に資料提供を行うことができます。

図 4 NACSIS-ILL の概念図

http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/guide_top.html



図 5 GIF 概念図 (GIF (Global ILL Framework) ガイド、国立大学図書館協議会編、2003 年 11 月) p.1 より



4 すべてが「わたしの図書館」！？

ネットワーク環境において、地球規模で資源共有の理念を実現しようという理念が GIF (Global ILL Framework グローバル ILL フレームワーク) と呼ばれるシステムです。

(図5) 当館は、平成16年度から GIF に参加して、利用者の情報要求に対して、国内のみならず、海外の大学図書館と相互に協力していく予定です。

また、平成15年3月に茨城県民の生涯学習を支援することを目的とし、茨城県立図書館と相互貸借の協定を締結しました。当館の利用者は県立図書館の資料を当館のカウンターで貸出、返却することができ、県立図書館の利用者は当館の資料を県立図書館のカウンターで貸出、返却することができます。当館は、茨城県の学術環境の整備、学術情報を提供する役割も果たしています。

当館の利用者は ILL サービスを利用して、国内のすべての大学図書館や海外の図書館、地域の図書館を「わたしの図書館」として利用することができます。

(はせがわ・じゅんこ)